

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人
こどもプロジェクト

1. 事業の成果

平成23年3月11日の東日本大震災から9年目となった本年は、震災以来継続支援している福島から東京へ避難している母子の支援を平成29年12月に阿佐谷にオープンした避難親子の居場所「リベルタ」において週6日行い、健康相談、料理教室など多くのイベントを開催した。福島県内、県外の子どもたちを長期的に支援するための長野県上田市に設営を目指す滞在施設の活動は、福島県内の子どもたちの自然体験とリフレッシュプログラムとして復興庁助成で夏1回、冬1回2泊3日開催し、約80名の福島母子を招待した。また、食育を中心として「子ども食堂」を復興庁事業としてリベルタで月2回行ったところ、地域の支援者がとても増えたこと、食材の寄付が多く集まることで防災の観点でも地域のネットワークの拠点とすることができることを広く提言できた。3月から新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校が休校となったが、他の子ども食堂が中止となり、当団体はテイクアウトで毎週開催してパントリーも行い、需要の高まりを感じた。コロナ感染予防の自粛から経済的な不安も高まり次年度の活動の方向性を検討することにつながった。

2. 事業の実施に関する事

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報通信ネットワーク構築事業	こどもプロジェクトHP,メールマガジン	平成31年4月から令和2年3月まで	東京都内	2名	子育て支援者、当事者10,000名	20
子どもの居場所作り・奉仕体験事業	避難児童学習支援、健康相談、ふくしまっ子自然体験リフレッシュ、避難母子の交流カフェ、料理教室、こども食堂	平成31年4月から令和2年3月まで	東京都内 杉並区阿佐谷 長野県上田市	50名	当事者約2,750人、地域住民700名、	22,000
次世代育成支援対策推進事業	福島からの母子の食育ファバラの推進	平成31年4月から令和2年3月まで	東京都・上田市内	5名	当事者約300人	800
ホームページなどの運営	こどもプロジェクトHPにて子育て支援情報を提供	平成31年4月から令和2年3月まで	インターネット上	2名	利用者・一般5,000名	20

(2) 営利活動に係る事業

なし